

例題3. 2)(教科書記載の別の例題)

再帰方程式を利用して最適解が理論的に得られる場合

正の数 x を n 個の正の数 x_1, x_2, \dots, x_n に分けて, それらの積 $x_1 x_2 \cdots x_n$ を最大にせよ。

学生さんから指摘がありました。
ありがとうございます！

x, x_1, x_2, \dots, x_n は正の数なので
「 \leq 」を「 $<$ 」に修正します。

解) $f_1(x)$ と $f_k(x)$ を以下のようにおく。

$$\begin{cases} f_1(x) = x \\ f_k(x) = \max_{0 < x_1 + x_2 + \cdots + x_k = x} \{x_1 x_2 \cdots x_k\}, \quad k = 2, 3, \dots, n \end{cases} \quad (1)$$

最適性の原理より, 再帰方程式は次式となる。

$$f_k(x) = \max_{0 < x_1 \leq x} x_1 f_{k-1}(x - x_1) \quad (2)$$

式(2)で $k = 2$ の場合を考えると

$$f_2(x) = \max_{0 < x_1 \leq x} x_1 f_1(x - x_1) = \max_{0 < x_1 \leq x} x_1 (x - x_1) = \max_{0 < x_1 \leq x} \{-(x_1 - x/2)^2 + (x/2)^2\}$$

$$\text{よって, } f_2(x) \text{ は } x_1 = x/2 \text{ のときに最大で, } f_2(x) = (x/2)^2 \quad (3)$$

$$f_k(x) = \max_{0 < x_1 \leq x} x_1 f_{k-1}(x - x_1)$$

(2)再掲

$k = 3$ の場合を考えると

式(3)より

x, x_1, x_2, \dots, x_n は正の数なので「 \leq 」を「 $<$ 」に修正します。

$$f_3(x) = \max_{0 < x_1 \leq x} x_1 f_2(x - x_1) = \max_{0 < x_1 \leq x} x_1 \{(x - x_1) / 2\}^2$$

ここで、 $g(x_1) = x_1 (x - x_1)^2$, $(0 < x_1 \leq x)$ とおき、 x_1 で微分すると、

$$g'(x_1) = (x - x_1) \{(x - x_1) - 2x_1\} = (x - x_1)(x - 3x_1)$$

$g'(x_1)$ は $x_1 \leq x/3$ で正、 $x_1 > x/3$ で負であるから、 $g(x_1)$ は $x_1 = x/3$ で最大値を取る。よって、 $f_3(x)$ は $x_1 = x/3$ のときに最大で、

$$f_3(x) = (x/3)^3 \tag{4}$$

式(3)と(4)と見て、 $n = k$ のとき次式が成立すると仮定する。次頁にて、この仮定が正しいことを帰納法で証明する。

$$f_k(x) = (x/k)^k \tag{5}$$

$$f_k(x) = (x / k)^k$$

(5)再掲

以下, 帰納法により, 一般の k について証明する. $n=k$ で式(5)が成立するとする.

x, x_1, x_2, \dots, x_n は正の数なので「 \leq 」を「 $<$ 」に修正します.

$n = k + 1$ のとき

式(5)より

$$f_{k+1}(x) = \max_{0 < x_1 \leq x} x_1 f_k(x - x_1) = \max_{0 < x_1 \leq x} x_1 (x - x_1)^k / k^k$$

ここで, $x_1 (x - x_1)^k$ の最大値を求めるため, $g(x_1) = x_1 \times (x - x_1)^k$ とおき, x_1 で微分すると,

$$g'(x_1) = (x - x_1)^{k-1} \{ (x - x_1) - k x_1 \} = (x - x_1)^{k-1} \{ x - (k+1) x_1 \}$$

$g'(x_1)$ は $x_1 \leq x / (k+1)$ で正, $x_1 > x / (k+1)$ で負であるから, $g(x_1)$ は $x_1 = x / (k+1)$ で最大値を取る. このとき, $f_{k+1}(x)$ は次式となる.

$$\begin{aligned} f_{k+1}(x) &= \{ x / (k+1) \} \{ x - x / (k+1) \}^k / k^k = x^{k+1} \{ k^k / (k+1)^{k+1} \} / k^k \\ &= \{ x / (k+1) \}^{k+1} \end{aligned}$$

故に, 式(5)は一般の整数 k について成立する. したがって, x を等分するとき, それらの積は最大値となる.